



仕 様	
種類 / 型式	合併処理 / KZ II - 7 (D)
処理方法	担体流動接触床循環方式
処理対象人員	7 人
一人当り汚水量	0.2 m ³ / 人・日
計画汚水量	1.4 m ³ / 日
流入水 BOD 濃度	200 mg / L
放流水 BOD 濃度	20 mg / L
BOD 除去率	90 % 以上
流入水 T-N 濃度	45 mg / L
放流水 T-N 濃度	20 mg / L
T-N 除去率	56 % 以上
流入水 S-S 濃度	160 mg / L
放流水 S-S 濃度	15 mg / L
S-S 除去率	91 % 以上
有効容量 m ³	
① 好気ろ過槽	0.146
② 沈殿分離槽	0.605
③ 嫌気ろ過槽	0.738
④ 担体流動槽	0.285
⑤ 接触ろ過槽	0.056
⑥ 沈殿槽	0.112
⑦ 消毒槽	0.015
総容量	1.957
⑧ 放流ポンプ槽	0.060
電気機器仕様	
送風機	80L / 分 (0.015MPa) 100V, 48W, 1台
放流ポンプ	100L / 分 x 2.5 / 4.0 (50/60Hz) x 0.15kW x 2台 100V, 自動交差運転
* 底板	KB-1800 (800x1800x20t 繊維補強コンクリート)

特記事項	
使用材料	コンクリート FC=21-18 (15) - 20 (25) 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC=18N / mm ² 鉄筋 SD295A (規格品) 特記なき事項は JASS5 による。
配筋事項	総長さ・定巻長さ 全て 40 d とする * 砕石厚さの条件 (本図は砕石 100mm とする)
地盤	土質 岩盤・土丹 砂礫・砂 シルト・粘土・ローム N 値 N ≥ 10 N < 10 N ≥ 10 N < 2 N ≥ 2
地業 (砕石)	種別 地はだ 砂利 砂利 砂利 砂利 厚さ (mm) 100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力 40 kN / m ² (想定)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 砕石地業は十分振圧を行い、KBプレートでの施工要領書にしたがい、水平を出し高さ確認を行って下さい。 積雪 1m 以下の場所に設置して下さい。 施工時に地質、地下水位を調査し、地耐力を確認して下さい。 かさ上げが 300mm を超えないようにして下さい。 本図はかさ上げ 300mm 付きの施工図です。 上層スラブは必ず土厚 ≥ 200mm 以上受けるよう掘削面側に応じて寸法を調整して下さい。 直接浄化槽にタイヤが乗らないよう浄化槽の乗上り乗用車が位置するよう配置して下さい。 その他駐車場の寸法など現場の状況に応じて上層スラブの寸法を調整して下さい。 駐車車庫は、総重量 2T 以下の車庫となります。 製品全高は、±10mm の公差があります。 流入流出管底は、製品全高に対して ±10mm の公差があります。 浄化槽全高は、本体板厚含む高さで表記。
* 臭突管 (排気管) について	<ul style="list-style-type: none"> 設置場所が風通しが悪く臭気がこもるような場合や放流ポンプ槽がある場合は、必ず臭突管 (または通気管) 工事をして下さい。 * 詳細には、施工要領書を参照下さい。